

自由民主党 大阪府議団だより

幹事長

令和5年3月議会において

原田りょう 府議が

吉村知事に代表質問 ～2時間半にもわたり徹底議論～

Profile

昭和61年8月23日生まれ36歳 二児の父、子育て奮闘中! / 私立智辯学園高等学校卒業 / 大阪大学法学部法学科卒業 / 被災支援団体ACTION代表(現在、防災士) / 衆議院議員事務所勤務 / 箕面市議会議員(全国最年少25歳で当選) / 大阪府議会議員(全国都道府県議会議員最年少28歳で当選) 現在2期目 / 自民党大阪府議会議員団幹事長(歴代最年少33歳で就任) / (一社)箕面青年会議所理事長などを歴任

箕面市・豊能郡選出(定数2→1へ!)

ご挨拶

皆さんのお力になりたい ～誰よりも動く～

原田りょうは皆さんの温かいご支援のおかげで2期8年大阪府議会議員として務め、今では大阪府議団の幹事長という大きな力を与えていただき、知事とも是非々で様々な大阪発展のための取り組みを進めてきました。この間、皆さんから府民相談をいただいた際にはすぐに対応することを心掛け、1,750件(令和5年3月1日現在)以上の様々なお困りごとを解決してきました。

能勢町は府議の定数が2⇒1に～

自民党大阪府議団として、他党派とも共同で大阪府議会の議員定数削減条例を提案し可決されました。これにより、この箕面市・豊能郡選挙区では、定数が2人⇒1人に削減され1人しか大阪府議会議員が誕生しないようになりました。原田りょうは、もう1人の府議の辞職に伴い、既にこの間ずっと1人で能勢町・豊能町・箕面市の皆さんの相談事に対応してきました。たくさんのご相談をいただき仕事量は多いですが、なんとか対応できており、何よりも徹底した議会改革・財政改革が必要との思いから、自ら進んで身を切り、議員定数削減を率先して進めました。これからも、皆さんに寄り添って誰よりも働いてまいります。

大阪府はもちろんのこと、国とも連携し能勢町の人口減少対策を進める!

Q 原田議員

全国的に人口減少が進む中、令和4年4月に能勢町と豊能町が新たに過疎地域として公示された。両町は、昨年9月に過疎地域持続的発展計画を策定し、今後は同計画に基づき、移住・定住の促進をはじめ、産業振興などの取り組みを進めていくが、大阪府としても過疎地域となった両町を力強く支援していくべき。



▲岡田直樹地方創生担当大臣と意見交換

A 市町村局

大阪府で過疎地域に既に指定されている千早赤阪村や岬町の事例等を踏まえ、過疎法に基づく特別措置を最大限活用することで、過疎地域における持続可能な地域社会の形成や地域活力のさらなる向上が実現されるよう、能勢町と豊能町を積極的に支援してまいります。

⇒過疎地域に指定を受けた能勢町と豊能町の積極的な支援を実現!

国へ要望!

先日、岡田直樹地方創生担当大臣に私の地元にお越しいただき意見交換を行い、今後も能勢町の人口減少対策に国としてもお力添え下さるとの力強いお言葉も賜りました!

能勢町に企業誘致を実現する!!

大阪府内は企業用地が不足しており、兵庫県や他府県に企業が流出している現状があります。そのような中で能勢町は、新名神ICまですぐという好立地であり、進出したい企業から問い合わせがあるものの、まとまった企業用地がありません。

実は能勢町は、**99%が市街化調整区域であり、企業にとっては魅力的な立地である国道沿いの農地は農業振興地域であり、さまざまな規制の網がかかっています。**

これらを企業用地に転換するために、**規制の網を外す取り組みを大阪府農政室や上森町長と一緒に進めており、まとまった企業用地を生み出して企業を誘致していくこと**を次の任期では必ず実現します。

雇用を生み出し、若い世代を呼び込み、ご高齢の方を支えていく。5年先、10年先を見据えた能勢町発展のための取り組みを今後も進めてまいります。



⇒府議会2期8年の実績と経験がある『原田りょう』だからできる!

原田りょうが8年間で実現した能勢のこと

- ・能勢高校の存続(府立豊中高校の分校という異例の形での存続を実現)
- ・大阪府森林環境税の創設とそれを活用した危険溪流の流木対策事業を実現(天王・山内・野間中・山田・倉垣)
- ・G20大阪サミットで能勢のPRを実現。能勢の名産品をいくつか取り上げてもらう
- ・農家への肥料高騰に対する大阪府の支援を実現
- ・天王地区のスマート農業への大阪府の支援を実現
- ・プロバスケットボール選手からのみどり丘幼稚園・のせ保育所にバスケットボールの寄贈を実現
- ・国道173号線の災害で崩落した箇所について国と府に働きかけ早期復旧を実現
- ・国道173号線の側溝の土砂撤去、舗装補修(栗栖)、道路防災(福住、天王)
- ・国道173号線の上杉口バス停付近(兵庫県域との境界)の草木の伐採
- ・国道173号線通学路となっている歩道の除草作業
- ・国道173号線山辺保育所付近の竹と倒木の撤去
- ・なかなか進んでいなかった田尻川河川改修、野間川河川改修、山田川河川改修を実現

- ・豪雨災害により大規模な土砂崩れが起きた上杉地区や長谷地区の復旧治山事業を実現
- ・能勢ささゆり学園近く、橋の堤防のコンクリート舗装
- ・府道603号能勢猪名川線(今西地区)の道路陥没箇所の補修
- ・府道732号亀岡能勢線逢坂峠の暴走二輪車の取締強化
- ・山田川左岸ジャパン北側堤防除草対応
- ・稲地の水銀燈の補修
- ・栗栖の太陽光設置の件対応
- ・府道603号能勢猪名川線(上杉地区)の側溝土砂撤去と草木伐採
- ・府道104号宿野下田線、カーブ箇所(平通地区)に防草シートを設置し視界を確保
- ・府道54号園部能勢線(大里地区)の道路下土管を更新し雨天時の大幅な道路排水を実現
- ・冬季に撒く融雪剤(塩カル、除雪剤)の備蓄量を1.5倍に増加
- ・府道106号吉野下田尻線の早期補修の実現と橋の段差の解消
- ・北川砂防堰堤、東山支溪砂防堰堤の実現
- ・一庫大路次川堆積土砂撤去
- ・国道477号線地黄の速度対策と街路灯設置

など、町民の皆さんの声を聞き、様々なことを実現!

府立高校の際限ない募集停止は改めるべき!

Q 原田議員

今後、私立高校の無償化の拡大により私立高校を志願する傾向が強まり、定員割れする府立高校数が増加して募集停止がさらに進むのではないかと。わが会派は、これまでも府立高校を募集停止することにより、地域の学校がなくなり、地域の子どもたちが通学時間や通学費などの問題によって就学に困難をきたすといった懸念を指摘してきた。このまま再編整備を進めていくと際限なく募集停止校数が増えていく懸念がある中で、今後、府立高校の役割を踏まえ、どのように再編整備を進める必要があると考えているのか。実際に、今現在3年連続定員割れしている府立高校は、「廃校になるのではないかと」の噂が広まり、それだけで大きなマイナス・入学人数がさらに減少するという事態に陥っている。今こそ改めて、府立高校の役割を定義して、際限なく募集停止を進めるのではなく、必要であれば定員割れを防ぐように大阪府としてもしっかりと支援していくべき。

A 吉村知事

再編整備を進めるにあたっては、効果的かつ効率的な学校配置とあわせ、多様な学びを保障する新たなタイプの学校の設置など、教育内容の充実を図り、魅力ある府立高校づくりを推進していくこととしている。こうした公私の切磋琢磨を通じて大阪全体の教育力の向上につなげてまいります。また、大阪の子どもの就学機会を確保する観点から、募集停止校の決定に当たっては、府立学校条例のもと、志願状況に加え、教育課程や教育活動といった学校の特色、さらに



公共交通機関の整備状況、高校の設置状況といった地域の特性も勘案した上で総合的に判断し、募集停止をしたとしても、対象校に通っている生徒の出身地域に在籍する中学生が、高校の就学を断念するようなことが生じないかの確認を行い、決定していく。

⇒地域の実情に応じた対応を求め、地元の府立高校を必ず守る!

原田りょう最後の府政報告会

日時 3月20日(月) 19:00~

場所 浄るりシアター 小ホール(宿野30)

お申込み不要です。原田りょうの任期中最後の訴えや政策をぜひお聞きください!

自民党府議団は批判ではなく、提案。毎議会、新提案。

1

私立高校授業料は「所得制限なし」で「府外」も含めて「完全無償化」を!

↳ 自民党府議団が条例改正案を提出!

2

カジノを含むIRは「住民投票」で民意の反映を!

↳ 自民党府議団が「知事選と同日に住民投票を行う」条例案を提出するも、大阪維新の会が反対!

3

18歳以下の子どもにお米10キロ!? 結局どうなった?

府民の関心が高いこの事業の予算は、「物価高騰対策」として国から地方に給付される臨時交付金を活用しています。使い道は一定程度決められているものの、詳細な取り組みは地方自治体に委ねられています。ちなみに、対象者は府内約139万人で事業費は約76億円。「お米10キロ」の配布から、二転三転、紆余曲折しましたが……

これまでの経緯 当初、吉村知事が「お米10キロ」の配布を表明。

自民党府議団は…

ギフトカードや物品配布には、多額の事務費(事業費76億円のうち事務費は7億円)が必要。そのため、お米ではなく、市町村が給付する「児童手当に上乘せ」(16~18歳や児童手当不支給世帯は別途対応)するなど、「現金給付」を主張!

しかしながら… 知事は「現金給付にすると、親が遊興費に使う」として「お米10キロ」の配布にこだわる。

自民党府議団は…

現金給付がダメなら、せめて「お米だけではなく、幅広く食料が選べるように!」と要望!

その結果 お米以外にも幅広く食料を選択できる案を大阪府が提案。

その後 お米の購入希望者には「お米券」を配布すると知事が表明。

自民党府議団は…

府内の米穀店などには、「お米券」を利用できない店舗が多数あることを指摘!

最終的には

府は「お米券」を取りやめ、地域でも使える「デジタルお米クーポン」を取得するか、大阪府が設置する特設サイトから各食品を選択・配送することに。なお、3月22日から申請を開始し、対象者には府のホームページから申し込みが必要で、販売店も登録が必要。

府議会では詳細な審議を他会派が拒否!

府議会では議案を採決したものの、76億円の予算案にもかかわらず、詳細な審議を行う委員会付託を他会派がなぜか拒否!十分な審議がないままの可決となったため、議会閉会後直ちに吉村知事に対して緊急要望!

緊急要望を踏まえて

お申し込みはこちらから

対象者への周知徹底や「デジタルお米クーポン」の理解促進が徹底されるほか、大阪産(もん)などの府内産品やアレルギー体質などの子どもに対応した品揃えが行われることに。



何かお困りございましたら遠慮なくご相談ください。
原田りょうは皆さんのお力になります!!

TEL 072-722-7200

(9時~17時の間にお電話ください)

今、皆様がお困りの地域のことや行政のこと、不安なことやどこに相談したらよいかわからないことなど、何かございましたらなんでもご相談ください。原田りょうが皆様に寄り添い、どんなことでもすぐに対応いたします。

LINE

本人直通
24時間
相談可能



Mail

info@haradaryo.net